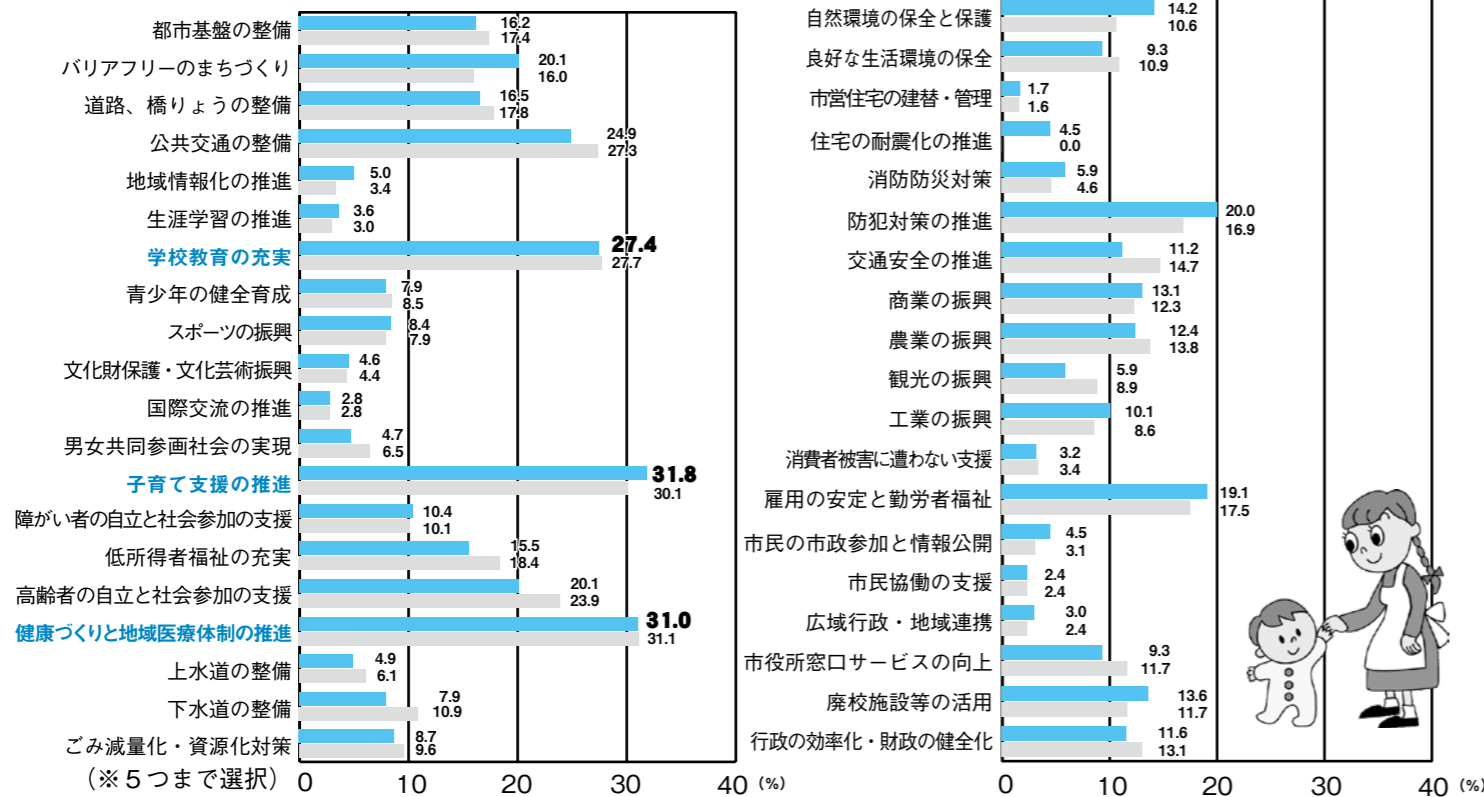


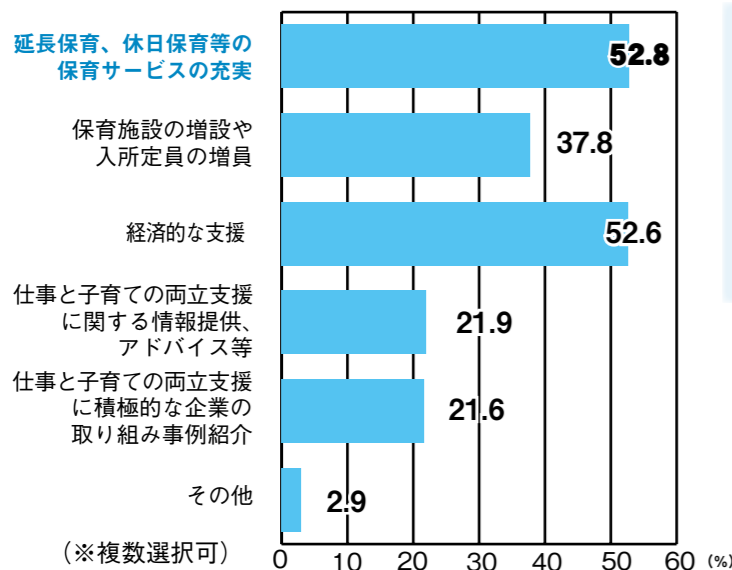
今後のまちづくりで力を入れてほしいこと

「子育て支援の推進」が31.8%と最も高く、次いで「健康づくりと地域医療体制の推進」、
「学校教育の充実」が上位に挙げられ、子どもに関する施策について関心の高さが表れています。



仕事と子育ての両立のため力を入れてほしい支援

仕事と子育てを両立するために、どのような支援があれば効果的だと思うかという質問では、昨年と同様「延長保育、休日保育等の保育サービスの充実」が52.8%で、最も高い結果となりました。



今後は調査結果をふまえ、市政運営に十分反映させていきます。調査にご回答いただいた皆さま、ありがとうございました。

詳しい調査結果は、市ホームページを確認ください。



市ホームページ QRコード

【問い合わせ】
総合政策課総合政策係
☎ 83・8102
FAX 83・5896

「選ばれる都市もおか」を目指して
市民意向調査 結果を報告します

市では「JUMP UP もおか～だれもが“わくわく”するまち～」の実現に向けて、さまざまな施策を実施しています。

市民意向調査は、施策の成果指標として市民の皆さんの意向や満足度を把握するため、毎年実施しているものです。質問は79項目あり、まちづくり、生活環境、地域活動、福祉、子育て支援など、幅広い分野にわたっています。今回は結果の一部を紹介します。

調査の概要

- 【調査地域】真岡市全域
- 【調査対象】満18歳以上の市民3,000人（無作為抽出）
- 【調査時期】令和2年4月～令和2年5月
- 【調査方法】郵送で調査票を配布
回答は郵送またはパソコン、スマートフォンで回答フォームに入力
- 【回答者数】1,363人
- 【回収率】45.4%

回答ありがびょん

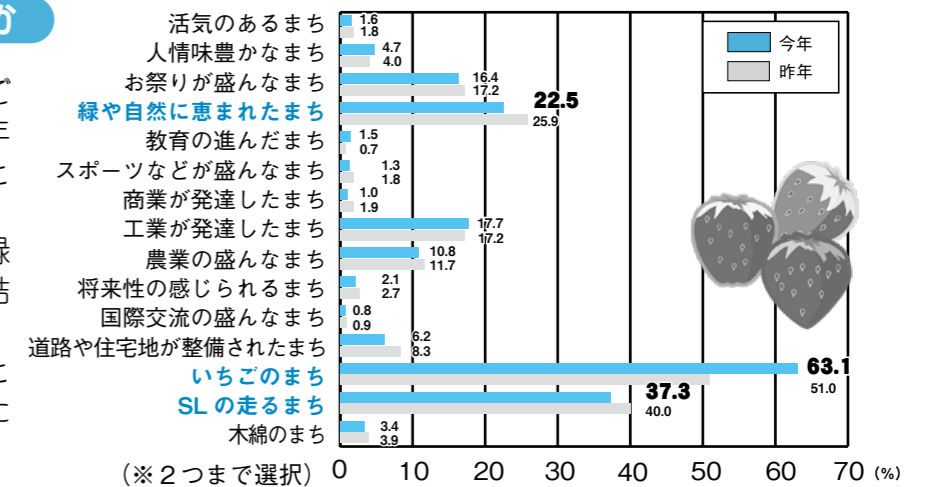


真岡市はどのようなイメージか

市のイメージとして、「いちごのまち」と回答した割合が、昨年より12.1ポイント増え63.1%と最も高くなりました。

次いで「SLの走るまち」、「緑や自然に恵まれたまち」という結果になりました。

市民全体に「いちごのまち」というイメージが広く浸透してきたことが見て取れます。



真岡市が「どのようなまち」になったら良いか

「農・商・工の調和のとれた活力あるまち」が最も高く、次いで「高齢者や障がい者に思いやりのあるまち」、「交通事故や災害のない安全性の高いまち」、「医療機関が充実しているまち」という結果になりました。

